

子どもの才能は3歳、7歳、10歳で決まる！

林成之 (幻冬舎 2011.1)

この本には副題があります。「脳を鍛える10の方法」です。著者は、子どもの将来を考えて、才能を開花させる「**進化する脳**」を育む必要があると述べています。

◆才能を発揮する脳を育て、機能を高めるには、「本能を磨きながらその過剰反応を抑えること」「**よい心を育てること**」が必須。

◆いつまで経っても「子ども扱い」を続け、「ああしなさい、こうしなさい」と指示していると、子どもはどんどん**やる気をなくし**、**脳の機能を落としていく**

◆3歳～7歳で徹底的に**やめさせたい**、**育脳に悪い習慣**

- ① 物事に興味を持たない、**感動しない**
- ② 無理、できない、大変など**否定的な言葉**を使う
- ③ よく「**あとでやるよ**」と言う
- ④ 集中できず、**途中で違うことを考える**
- ⑤ だいたいできたところで**やめる**
- ⑥ 人の話を**聞き流す**
- ⑦ **人をバカにする**、尊敬できない
- ⑧ **学んだことを確認しない**
- ⑨ 自分が失敗したことを**素直に言えない**
- ⑩ **損得**を考えて手を抜く

◆道標となる大きな目標

- 3～7歳 脳にとって悪い習慣をやめ、「勉強やスポーツができる脳」のベースを育てる
- 7～10歳 **自ら学ぶ「本当に頭がよい脳」を育てる**